

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書兼事務事業評価調査

様式 1

No. 12030010

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A	
単位施策	3 図書サービスの充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	読書促進事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～平成34年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	5 保健福祉課	
事業指標	町民1人あたり貸出冊数		8 保育所	
事業目標	町民1人あたり貸出冊数10冊	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
町民参加	有	関係例規・法令名	無	
町民協働	読み聞かせ等におけるボランティアの活用	関係個別計画名	有	第9次社会教育中期計画、第3次子どもの読書活動推進計画

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	平成 31 年度 事 業 内 容	平成 32 年度 事 業 内 容	平成 33 年度 事 業 内 容	平成 34 年度 事 業 内 容	
計 画 内 容	● 図書サービスの充実 ・図書購入 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会等の各種イベント	・図書購入 2,500冊 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・新図書館オープンに向けた プレイVENT(絵本作家による ワークショップ、大人又は親子 を対象とした朗読会、愛称募 集事業)	・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 200点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・新図書館オープン記念事業 (講演会、ワークショップ等) ・映画上映会、工作会等の各種 イベント	・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 50点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会、工作会 等の各種イベント	・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 50点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会、工作会 等の各種イベント	・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 50点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会、工作会 等の各種イベント	
	計 画 事 業 費	事業費(千円) 36,460	4,380	11,980	6,700	6,700	6,700
実 績 事 業 費	財源内訳	国庫支出金 0					
	道支出金 0						
	地方債 0						
	その他 7,000		7,000				
	一般財源 29,460	4,380	4,980	6,700	6,700	6,700	
事業費(千円) 4,280	4,280	0	0	0	0		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	財政調整基金		図書・絵本購入(2,584冊) ブックスタート 5回実施、29人に配付 配本～雄武小 年間2,800冊 豊丘小 年間1,500冊 移動図書館 145人利用、493冊貸出 プレイVENT(おはなし会)の実施 ※事務事業評価結果 B-継続/拡充	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	【評価・実績】						
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	98%	0%	0%	0%	0%
		全体達成率	12%	12%	12%	12%	12%
		備考欄					

事業名 読書促進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	中村 文隆
	評価者 作成者 職氏名	図書業務係長	中西 厳太

様式1
平成30年度実施
平成31年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	利用者(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	図書購入冊数2,500冊、町民1人当たり貸出冊数10冊								
【抱える課題やニーズは】	図書の計画的購入、企画展示の開催などにより図書館サービスの向上に努めているが、施設上の制約により図書館の魅力を十分に引き出すことができていない、という課題を抱えている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者のニーズに応じた図書の購入及び蔵書構成により、読書活動の推進や図書館サービスの向上を図る。	① 図書購入冊数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成30年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2,500冊</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2,584冊</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>103.4%</td></tr> </table>	目標年度	平成30年度	目標値	2,500冊	実績値	2,584冊	達成度	103.4%
目標年度	平成30年度										
目標値	2,500冊										
実績値	2,584冊										
達成度	103.4%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	性別や年齢、職業等を問わず幅広い町民を対象とした、地域における暮らしに役立つ情報拠点となり、生涯学習の推進や地域の活性化を図る。	② 1人当たり貸出冊数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成30年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10.00冊</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>7.47冊</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>74.7%</td></tr> </table>	目標年度	平成30年度	目標値	10.00冊	実績値	7.47冊	達成度	74.7%
目標年度	平成30年度										
目標値	10.00冊										
実績値	7.47冊										
達成度	74.7%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	① 図書購入冊数(絵本含む)	図書購入冊数~2,584冊(目標値対比84冊の増、前年度対比80冊の減)									
	② 年間貸出冊数	年間貸出冊数~33,084冊(前年度対比123冊の減) 年間貸出人数~6,976人(前年度対比212人の減)									
	③ 移動図書館・配本・ブックスタート 新図書館オープンに向けた各種事業	ブックスタート~「はじめてのお誕生会」の場で5回実施し、29人に配付。 配本(年間実績)~雄武小学校2,800冊、豊丘小学校1,500冊、計4,300冊を配本。移動図書館~沢木地区 145人・493冊を貸出。 新図書館開館に向けたイベントとして、絵本作家によるおはなし会を実施したほか、図書館の愛称募集を実施。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域の情報拠点として位置付けられる図書館において、蔵書を充実し図書館利用を促進することは、町民の生涯学習の推進のため必要であり、ひいてはまちづくりを担う人材の育成につながり、地域の活性化に寄与するものである。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	1人当たり貸出冊数は目標達成に至っていないが、団体貸出や開館日数が昨年度よりも少なかったにも関わらず、1人当たり貸出冊数は微増していることから、町民ニーズに応じた図書の整備や蔵書構成、企画展示実施の効果が現れつつある。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	図書購入に係る経費は、図書館に対する町民ニーズに応えるための必要なコストであり、図書購入の際には町民ニーズを踏まえた選書や購入冊数等の精査を行っており、効率的に執行している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減

(4)事務事業の公平性

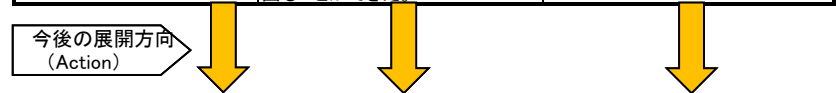
公平	判断の理由	図書館は町民の誰もが利用できる空間であるとともに、町民のニーズに応じた図書の整備を図っていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	B	
	1人当たり貸出冊数は目標値に達していないが、開館日数が少なかったにも関わらず、実績値は微増しており、事業の効果が表れている。 また、町民に対して各種イベントにおいて新図書館開館の周知を図ることができた。	



継続/拡充	
	蔵書の計画的な購入と整理、企画展示の充実等による図書館サービスの更なる向上を引き続き行うとともに、イベント等の結果を踏まえ、新図書館開館後の各種イベントについて拡充を図り、町民に親しまれる図書館づくりを目指す。

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書兼事務事業評価調査

様式 1

No. 12030020

政策目標	3	【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成25年度 調査・まとめ 平成26年度 基本計画策定開始 平成27年度 基本計画策定完了、 建設敷地現況測量業務委託：1,901千円 平成28年度 基本計画策定完了、プロポーザルに向けた準備 平成29年度 プロポーザル、基本設計・実施設計業務委託：45,792千円 建築確認・構造計算適合性判定：500千円
基本施策	12	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A		
単位施策	3	図書サービスの充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町図書館建設事業		見直し年度			
事業期間	平成30年度～平成31年度		担当課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関係課	11	建設水道課(建築)	
事業指標	図書館建設		関係課	10	建設水道課	
事業目標	図書館建設 1施設		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	有	図書館法、建築基準法	
町民協働			関係個別計画名	有	図書館整備基本計画	

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	平成 31 年度 事業内容	平成 32 年度 事業内容	平成 33 年度 事業内容	平成 34 年度 事業内容	
計 画 内 容	● 新図書館建設 ・本体工事 ・工事監理委託 ・外構工事 ・備品購入	<ul style="list-style-type: none"> ・本体工事 499,576千円 ・道路・上下水道既設工作物撤去 9,482千円 ・施設周辺整備 14,364千円 ・駐車場・アプローチ整備 4,590千円 ・工事監理委託 15,660千円 ・完了検査 318千円 ・土地購入代 2,130千円 ・備品購入 71,382千円 ・図書管理システム(1次導入) 4,158千円 ・郷土資料展示制作・施工 27,540千円 ・既存施設解体 28,330千円 (平成29年度からの繰越明許費) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外構工事 45,300千円 ・監視カメラ設置工事 1,000千円 ・新図書館への移転経費 800千円 ・図書管理システム(2次導入) 10,500千円 ・備品購入 18,900千円 ・消耗品 500千円 ・絵画運搬 300千円 ・用地確定測量 3,900千円 				
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	730,400	649,200	81,200	0	0
実 績 事 業 費	財源内訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	322,800	277,500	45,300		
		その他	407,600	371,700	35,900		
		一般財源	0				
関 連 事 項	特定財源の名称	事業費(千円)	649,080	649,080	0	0	
		国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	277,500	277,500			
		その他	0				
	一般財源	371,580	371,580				
	【評価・実績】	(実施内容等) 本体工事一式、外構工事、工事監理 備品購入 図書管理システム導入 郷土資料展示 既存施設解体 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 年度達成率	図書館建設1施設 100%	図書館建設1施設 0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	後期計画への継続 (継続無し)	全体達成率 備考欄	89%	89%	89%	89%	

事業名	雄武町図書館建設事業	評価者	管理職 職氏名	教育振興課長	中村 文隆
		評価者	作成者 職氏名	図書業務係長	中西 厳太

様式1
平成30年度実施
平成31年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	利用者(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	図書館整備に係る各種工事、備品購入等の完了								
【抱える課題やニーズは】	図書館は地域の情報拠点であり、町民の誰もが居心地の良い場所として利用できる空間であるが、現在の図書館は施設が狭隘なため、町民ニーズに十分応えることができていない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	十分な閲覧スペースや学習スペース、蔵書を備えた新たな図書館を整備することにより、地域の情報拠点としての役割を果たし、町民の生涯学習の推進と地域の活性化に寄与することを目指す。	① 図書館建設工事	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成30年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成30年度	目標値	1施設	実績値	1施設	達成度	100.0%
目標年度	平成30年度										
目標値	1施設										
実績値	1施設										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	いつでも、誰でもが気軽に立ち寄れる居心地の良い空間となることにより、幅広い町民のコミュニケーションの場となり、町民の生涯学習の推進と地域の活性化が図られる。	② 図書館備品購入	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成30年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成30年度	目標値	1施設	実績値	1施設	達成度	100.0%
目標年度	平成30年度										
目標値	1施設										
実績値	1施設										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	① 図書館建設工事	平成29年度に完了した実施設計に基づき、外構工事、建築工事、電気工事、給排水工事及び工事監理業務を実施した。									
	② 図書館備品購入	書架及び閉架書庫に設置する移動棚等の購入を実施した。									
	③ 郷土資料展示	郷土資料の展示(昔の日常生活品の展示、体験展示、漁業や林業、酪農業等のシンボル展示等)及び展示用器具の制作を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	現図書館が抱える課題解決のため、地域の情報拠点となる新図書館の整備は、町民の生涯学習の推進と地域の活性化のために必要なものであり、行政が推進すべきものである。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画どおり一連の工事、物品購入等を実施した。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	各種工事、備品購入等については指名競争入札により事業費の抑制を図ることができたほか、専門性の高い郷土資料展示業務については、当町を熟知している業者と随意契約により実施し、コスト、専門性を勘案しながら事業を行うことができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

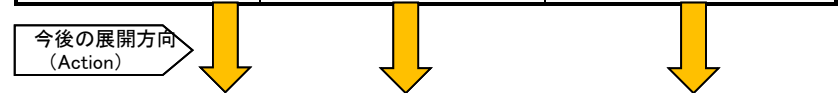
公平	判断の理由	図書館は、町民の誰もが居心地の良い場所として利用できる空間であるとともに、新図書館の整備は町民のニーズに応じたものであることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
設計に基づき、図書館本体の建設、展示物及び備品の導入を行うことができた。		



継続/現状維持		
施設が完成し、書架の購入も完了したことから、平成31年度は外構工事及び置き家具等の備品購入を実施し、新図書館開館に向けて事業をすすめる。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止